

インクルーシブ教育への展望

—共に生きる社会を求めて—

「障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格を尊重される共生社会」に近づくにはどうしたらいいのでしょうか？ その答えの1つがインクルーシブ教育です。松浦俊弥さんは、淑徳大学で、特別支援教育からインクルーシブ教育への発展について研究していらっしゃいます。松浦さんのお話を聞き、共生社会実現への道をごいっしょに考えましょう。



松浦俊弥さん プロフィール

1963年生まれ 千葉県印西市在住
臨床発達心理士、自閉症スペクトラム支援士エキスパート
現在、淑徳大学総合福祉学部 教育福祉学科 教授（教員養成課程）
浦安市中学校教諭、県立知的障害特別支援学校教頭等を経て現職
1998年、千葉県初の障害児放課後クラブ（現行の放課後等デイサービス事業）「あかとんぼ」を開設
『障害のある子どもへのサポートナビ』（北樹出版）ほか著書多数

第14回 ノーマライゼーション学校支援事業フォーラム

日時：2021年2月7日（日）13：30～16：00

講師：松浦俊弥さん [淑徳大学総合福祉学部 教育福祉学科教授]

場所：千葉県教育会館 303会議室

<第Ⅰ部>	13：30～14：10 ノーマライゼーション学校支援事業報告
<第Ⅱ部>	14：10～16：00 松浦俊弥さん講演 就学の問題、通常学級も含めた合理的配慮、進学先など学校生活に関わるさまざまな課題について、話していただきます。

定員：75名 参加費：500円 ※手話通訳あり

★保育は定員8名（先着順）、費用は500円です。

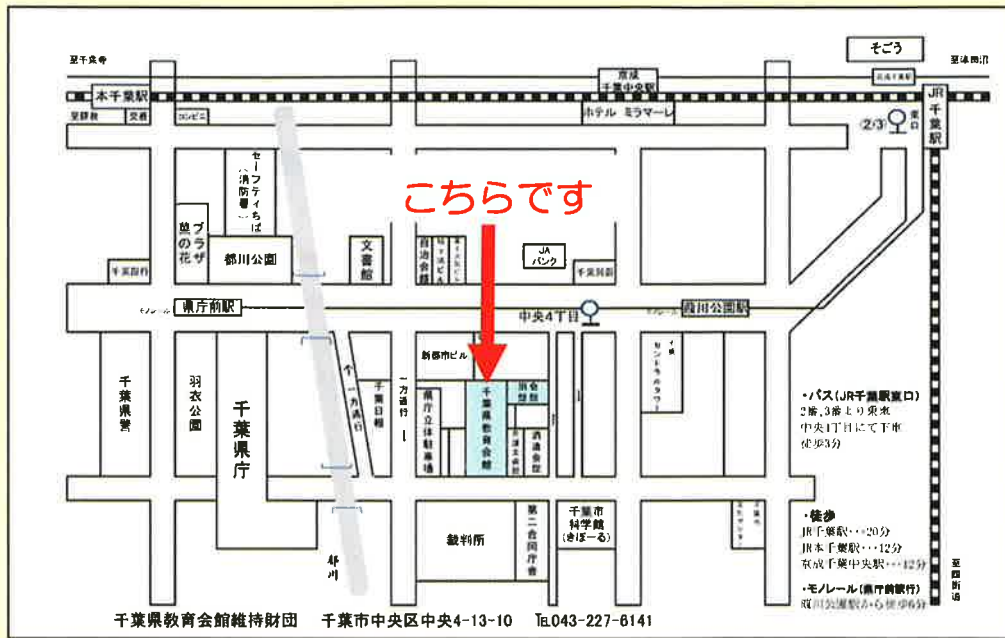
主催：NPO法人ちばMDエコネット / 後援：千葉県教育委員会

※この事業は千葉県人権啓発事業補助金の交付を受けて実施するものです。

<申し込み> 保育：1月22日（金）締切 / 講演：1月30日（土）締切

参加ご希望の方は、裏面の申し込み用紙の内容を、FAX、メール、電話のいずれかでご連絡ください。定員を超えてお断りする場合に限り、申込3日後までに事務局からご連絡します。

●ちばMDエコネット事務局（カフェひなたぼっこ 内）日・月 定休（年末年始 12/25-1/5 休業）
電話・FAX：047-426-8825 Eメール：sun@mdeconet.jp



***** ノーマライゼーション学校支援事業とは ******

発達に凸凹のある子や、障害のある子が学校生活の中で困った時に、その子がよりよい学校生活を送れるように、本人、保護者、学校関係者など、広く皆さんからのご相談をお受けしています。



<問い合わせ・予約> NPO法人ちばMDエコネット

相談・予約：10：00～16：00（日・月 定休）
 電話：047-426-8825 E-mail：soudan@mdeconet.jp（相談専用）
 相談場所：コミュニティカフェひなたぼっこ 〒273-0005 船橋市本町 4-31-23

新型コロナウイルス感染防止のため、参加される方は、出かける前に検温し、発熱や咳、だるさなどの症状がある場合は、申し訳ありませんが参加をご遠慮くださいますよう、お願いいたします。また、当日会場での手指消毒、マスク着用、入場時の検温をお願いします。席の間は空けてお座りいただき、決まった時間での換気にご協力ください。

新型コロナウイルス感染拡大のため、やむを得ず中止にする場合があります。その際は、2月4日(木)までに、ちばMDエコネットのHP[<http://mdeconet.jp/>]に掲載しますので、ご確認ください。

2月7日（日）フォーラム 申し込み用紙（FAX 番号 047-426-8825）

ふりがな 氏名	
所属	※所属のほか、保護者、学生、一般など、よろしければご記入ください
手話通訳	必要 / 不要 ※お席のご用意があるので、どちらかに○をつけてください
保育	必要 / 不要 （ お子さんの名前 年齢 ）
連絡先 どちらかに○ 自宅/所属	住所 〒 - 電話番号

※本申し込み用紙にご記入いただいた内容は、本フォーラムの開催目的以外で使用することはありません。